



「平成29年度 中部地区COC事業採択校学生交流会」を実施しました。

■ TOPICS

1. 「平成29年度中部地区COC事業採択校学生交流会」を実施しました。
2. 「平成29年度後期インターンシップ科目合同成果発表会」を実施しました。
3. 地域協学センターシンポジウムを開催し、ぎふ次世代地域リーダーの称号を23人に授与しました。

「平成29年度中部地区COC事業(※)採択校学生交流会」を実施しました。

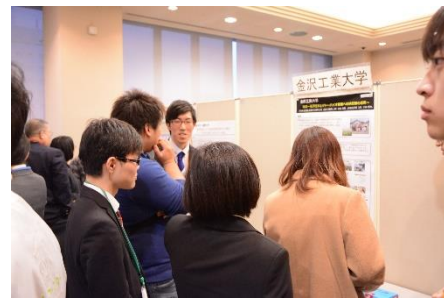
3月1日に岐阜大学及び金沢工業大学が幹事校となり、JR岐阜駅前のじゅうろくプラザを会場に中部地区COC事業採択校学生交流会を開催しました(12大学参加)。学生交流会では、各大学の代表学生が今年度の活動を発表するとともに、ポスターセッションにて互いの活動について情報を発信し、交流を深めました。

岐阜大学からは、次世代地域リーダー育成プログラム(※2)の上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の受講生が、関市の刃物の魅力を伝えるために実施した工場見学について、調査・情報収集、企画立案から実施までの1年間の活動の成果を発表しました。

発表学生からは、「同年代の参加者が素晴らしい成果をあげていたり、的確な質問を投げかけていたり、とても刺激になった。また参加したい」という声が聞かれ、他の大学の取組みを知る有益な場となりました。

※大学COC事業...「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としている事業です。

※2 次世代地域リーダー育成プログラム...岐阜大学生が地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材になるための教育プログラムです。地域の課題解決のための「地域リーダーコース」と地域産業で活躍するための「産業リーダーコース」があります。



「平成29年度後期インターンシップ科目合同成果発表会」を実施しました。



平成29年3月7日（水）、「平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会」を開催しました。この発表会は、「次世代地域リーダー育成プログラム」で開講するインターンシップ科目のいずれかを受講した学生が、自身の活動内容を地域・産業界に向けて発表する場です。今回は、受入先企業や自治体等の関係者19人、学生・教職員等51人の計70人が参加しました。

他の学生達の発表を聞くことで、新たな気づきを得たり、自身のキャリアアップを図ったりすることにもつながりました。平成30年度前期のインターンシップ科目に関するガイダンスは4月に実施します。地域協学センターが開講するインターンシップは、4月中履修申請可能ですので、興味のある方は、地域協学センターにお問い合わせください。

地域協学センターシンポジウムを開催し、ぎふ次世代地域リーダーの称号を23人に授与しました。



岐阜大学が推進している「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」及び「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」における教育・研究・社会貢献の活動報告および成果を広く学内外に向けて発信し、『地域活性化の中核拠点』として地域とともに活動・取組みを一層推進することを目指し、「地域活性化の中核拠点を目指して」をテーマに地域協学センターシンポジウムを開催（講堂：参加者約120人）しました。

シンポジウムの冒頭では、次世代地域リーダー育成プログラムの修了生に対する称号授与が行われました。平成29年度は23人に「ぎふ次世代地域リーダー」の称号が授与されました。

今回のシンポジウムは、「元気な地域をつくるために～それぞれの立場でできること～」をテーマに、岐阜県出身であるフリーアナウンサーの草野満代氏をお招きし、トークセッションを行いました。トークセッションには、地域代表として松井聡羽島市長、学生代表として次世代地域リーダー育成プログラム修了生辻希美さん（教育学部4年）、大学代表として福士秀人理事・副学長が登壇し、草野氏の進行のもと、それぞれの立場から地域に対する思い、貢献できることなどを語りました。